

臨床研究に関する情報公開

研究演題名

虫垂炎を含む炎症性腸疾患における原因菌の調査

研究機関

許可されてから平成 26 年 12 月 31 日まで

研究の目的と意義

これまで虫垂炎の起炎菌について諸説はあるものの明らかでなかった。近年欧米において、蛍光 *in situ hybridization* 法 (FISH 法) などを用いてフソバクテリウムが原因であることを証明した報告があります。当科では潰瘍性大腸炎とスピロヘータの関係について研究を進めています。虫垂炎について、本邦においても同様であるかを検討し、更に同様の方法を用いて腸内細菌が発症に関与すると考えられている潰瘍性大腸炎やクローン病など炎症性腸疾患においても調査します。この研究の意義は消化管内の細菌の種類や性質を組織標本中で直接的に観察できることで、炎症性腸疾患関連のフソバクテリウムを中心とした腸内細菌の起炎菌としての可能性について調査する事です

研究方法

2006 年 1 月 1 日～2010 年 12 月 31 日、本学附属病院にて炎症性腸疾患関連 (虫垂炎を含む) にて手術または生検を施行され、病理標本の研究教育利用の包括同意を得ている患者さんさ対象とします。標本を色素染色、免疫染色、菌に対して蛍光 *in situ hybridization* 法 (FISH 法) などで処理します。次に顕微鏡で観察し、各組織標本における、細菌の有無、種類、数、性質、組織との位置関係などを記録します。

研究機関

自治医科大学

個人情報の保護について

患者さん個人を特定する情報が公開されることはありません。

結果の公表

国内外の学会・医学雑誌などで、研究成果を発表することを予定しています。いずれかの場合においても公表する結果は統計的な処理を行ったものだけとし、被験者個人の情報は一切公表しません。

問合せ先

【研究責任者】

自治医科大学付属病院 消化器内科

西村 直之

〒320-0498

栃木県下野市薬師寺3311-1

TEL 0285-44-8297

【苦情の窓口】

自治医科大学研究支援課

TEL 0285-58-7550